

平成18年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会

小 野 寺

誠

社 会 ・ 市 民 連 合

新 岡

雅

秋 水 会

鎌 田 修

悦

秋 水 会

榎

清

1 市長の政治姿勢について

(1) 市町合併一年後の評価について

(2) 本市経済活性化のための2007年問題を踏まえた団塊世代のAターン促進策について

2 農業問題について

(1) 経営所得安定対策への取り組みについて

ア 担い手育成のためにどのような取り組みを行っているのか

イ 17年度、集落営農組織化に取り組んだ実績と成果はどのようなになっているのか、また、集落営農組織化においては、リーダー不足が一番の課題であると思うが、18年度の取り組みについてどのように考えているのか

ウ 品目横断的経営安定対策への加入手続きは19年産からであるが、要件を満たせなかった農家に対し、要件緩和など一定の猶予があってもよいと考えるがどうか、また、助成対象からもれた場合、生産調整を無視して多くの作付けをして販売することにつながるものが懸念されるが、これらの対応策は考えているのか

(2) 豪雪による被害農家への対策として、ビニールハウスの倒壊被害や栽培作物及び果樹の樹体被害に対する支援対策をどのように考えているのか

3 18年度の河辺、雄和両地域における合併特例債及び過疎債による事業について

(1) 18年度事業のうち、合併特例債及び過疎債を活用した継続事業、新規事業にはどのような事業があるのか、また、それらの事業費の総額は幾らか

4 県道河辺阿仁線の早期整備促進について

- (1) 県道河辺阿仁線整備促進期成同盟会が解散し、新同盟会が結成されるが、どのようなメンバーで結成され、旧同盟会の目的である通年通行に向けた今後の活動内容はどのようなになるのか

5 JR和田駅前の開発について

- (1) 和田駅北口の都市計画道路和田駅前線の道路拡幅計画の見通しはどうか

6 自然を生かした観光施策等について

- (1) 交通アクセス及び観光スポットの整備について

ア 岩見溪谷、三内溪谷、筑紫森、太平山登山入口を結ぶ新たな道路を整備することにより、なお一層すばらしい自然観光地になるものと考えるが、その見通しはどうか

イ 秋田中央郵便局が公募した「平成・私がお薦めする秋田の観光スポット30」で第9位になった伏伸の滝、観光秋田30景の岨谷峡、新観光秋田30景の三内溪谷、国指定天然記念物の筑紫森などについては、案内看板、遊歩道、駐車場等が未整備であるが、これらの観光スポットの整備について計画がなされているものか

- (2) 秋田市観光振興計画及び自然体験学習について

ア 雄物川、岩見川などを利用した自然体験型観光地を目指して、秋田市観光振興計画に掲げている「川プロジェクト」「里山プロジェクト」にどのように取り組んでいくのか

イ 岩見川の自然環境や自然体験活動の専門家などを活用した自然体験活動を学校教育に取り入れていく考えはないか

- (3) 秋田市自然環境保全条例について

ア 豊かな自然を持つ河辺、雄和両地域においては、環境保全等の活動が活発に行われる可能性を有していることから、両地域でも市民活動が市民活動計画として認定されるよう、より積極的に条例のP

Rに努めるべきと考えるがどうか

イ 河辺、雄和両地域における自然環境保全地区の指定に向けて、今後どのように取り組んでいくのか

7 職員の喫煙場所について

(1) 職員の休憩時のリフレッシュの場、交流の場として、雨風が当たらないような場所の設置は考えられないものか

1 市長の政治的認識と判断について

- (1) グローバリズムと癒着した新自由主義・小泉政権の末期症状への認識と判断について
- (2) 刺客総選挙と拝金増殖主義者問題をどう見るか
- (3) 幻想の構造改革と言いかえれば「ハーメルンの笛」ではなかったのか
- (4) 今、地方自治体に求められているものは何か
- (5) 拉致問題には、国交正常化を通じて解決を図ることが現実的で、日本と北朝鮮、アジア全体の利益になると考えるがどうか
- (6) 危険な新憲法草案についてどう考えるのか

2 少子・高齢化社会が進展する中、人口減少に転じた現実に対応する基本政策について

- (1) 人口減少の将来をどのように考えるのが望ましいのか
- (2) 人口減少に対応する雇用の安定について
 - ア フリーターとニートの雇用対策について
 - イ パート労働者と派遣社員等の雇用の安定に不可欠なワークシェアリングの法制化について
 - ウ 市が率先垂範し、本市の臨時職員にワークシェアリングを即刻適用すべきではないか

3 男女共生・協働の社会を目指し、機会の平等を拡充する教育のあり方について

- (1) O E C D の「生徒の学習到達度調査（P I S A）」の成績によって、ゆとり教育を転換することに意味はあるのか
- (2) 急ぐべきは30人程度学級から20人学級を実現するための道筋をつけることではないか

(3) 文部科学省が指導する過大規模校の解消について

(4) 障害者教育とノーマライゼーションの再確認及び実践効果について

4 石油資源をめぐる国際紛争とメタンハイドレートの開発による世界の環境、安全、平和への貢献及び本市の役割について

5 秋田港の港湾整備計画とポートタワーセリオンについて

(1) 港湾整備計画の今後について

(2) ポートタワーセリオンの戦略的位置づけについて

6 医療政策に求められているものは何か

(1) ヘルシー・ピープル・アクトを基本とする予防医学の徹底と拡充対策について

(2) ITを利用した先端機器導入による市立秋田総合病院の人間ドックの充実と機器購入借入金の利子削減対策について

(3) 医療費控除の大幅拡充に対する考えについて

7 19年執行予定の市議会議員選挙について

(1) 投票率の向上対策について

(2) 投票所の配置見直しについて

1 本市の財政について

- (1) 所得税から個人市民税への税源移譲による財源の確保について
- (2) 法人市民税及び固定資産税の最近の推移と今後の見通しについて
- (3) 本市のバランスシートにおいて固定負債の地方債と流動負債の翌年度償還予定額との合計が年々増加している要因は何か、また、今冬の豪雪による流動資産への影響が本市予算にどれくらい影響したのか、さらに、その対策及び今後の見通しはどうか
- (4) 公会計のディスクロージャーの観点から、行政コスト計算書及びキャッシュフロー計算書を明示すべきと思うがどうか
- (5) プライマリーバランスの現在の状況と今後の見通しについて

2 教育問題について

- (1) 三位一体の改革による義務教育費国庫負担金の税源移譲についてどう考えるのか
- (2) 本市の教科書の採択はどのようなになされているのか

3 地籍調査及び都市再生街区基本調査について

- (1) 本市における地籍調査の進捗率について
- (2) 旧秋田市の地籍調査の状況について
- (3) 地籍調査に対する国・県からの補助及び県内他市町村の事業費について
- (4) 都市再生街区基本調査の成果がむだになることが危惧されるがどうか

4 本市のまちづくりについて

- (1) まちづくり三法の改正が中心市街地のにぎわい復活になると考えるのか

- (2) 都市計画法の改正により工場跡地などの有効利用の道が閉ざされてしまうと考えるがどうか
- (3) まちづくりのパートナーシップの構築をどのような基本構想で進めていくのか
- (4) 中通一丁目地区市街地再開発事業に対する調査費が予算計上されているが、4核1軸構想を踏まえた中心市街地全体の費用対効果を検討すべきと考えるがどうか
- (5) 秋田駅前から旧産業会館跡地まで、街の景観を最も壊している電柱と電線を地下に埋設すべきと考えるがどうか
- (6) これだけ中心部の空洞化が進んだ本市において、コンパクトシティ実現の可能性はあるのか
- (7) 道路網整備の基本的な方針について
- (8) 旭川側から見た川反地区の景観を改善するため、美術工芸短期大学の学生を含めてコンペティションを行うなど、地元関係者と連携して景観の向上対策を進めるべきと思うがどうか

5 耐震問題について

- (1) 本市の1980年以前に建てられた住宅及び特定建築物はどれくらいか
- (2) 耐震診断や建物所有者への指導など具体的な計画づくりへの本市の対応はどうか
- (3) 悪質訪問リフォームによる本市の被害状況とその対策について
- (4) 幹線道路に面したビルの窓ガラスの状況について
- (5) 本市の上下水道管の耐震性について

6 ペットボトルのリサイクルについて

- (1) 本市の使用済みペットボトルの回収量とその処理方法について
- (2) 輸出業者から引き取りの希望があった場合に引き渡す可能性はあるのか
- (3) ペットボトルの再生は、石油からの生産に比べてエネルギー消費が

大きく、焼却した方がよいと思うかどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 政府の農業に対する姿勢をどう思うか
- (2) 自然災害と地球温暖化との関係に対する考えについて
- (3) 県のこども総合支援エリア（仮称）構想に対する市の見解について
- (4) 第10次秋田市総合計画の17年度実施計画に地方分権と地域連携の推進の項目が掲載されていないが、重要な施策ではないと考えているのか、それとも見直しが行われるものなのか
- (5) 建都400年記念事業の基本理念にある「未来に遺す」という部分については、短い期間で完結できるものではないと考えるが、昨年度から「未来に遺す」ということをどのように行ってきたのか、また、今後どのように進めていくのか
- (6) 市の機構と組織について、豪雪対策、中心市街地の空洞化、まちづくり、農村づくりなど部局横断的な課題を調整する部所がうまく働いていないことがこのたびの豪雪によって、浮き彫りになったと考えることから、思い切った改革、再編が必要ではないか
- (7) 次期行政改革大綱では、できるだけ平易な文章で市民が理解しやすい内容にすべきと考えるがどうか

2 秋田わか杉国体について

- (1) 国体期間中、市内全体を花で埋め尽くすことができないか

3 全国植樹祭について

- (1) 平成20年に全国植樹祭が開催されるに当たり、市としてどのように支援するのか

4 循環型社会に対する取り組みについて

- (1) 再利用できるものは、できるだけ再利用するような政策を行政とし

て考えるべきと思うが、そのような再利用の推進に関する企画が市に持ち込まれたことはあるのか

5 地域再生について

- (1) 本市で農業をやりたい人、山を開拓したい人、動物を育てたい人などを、全国から募集するような大胆な企画をする考えはないか

6 菜の花プロジェクトについて

- (1) 菜の花のリサイクル性を生かした資源循環型社会の実現を目指し、企画調整部、環境部、農林部が一体になって菜の花プロジェクトを立ち上げる考えはないか

7 森林セラピーについて

- (1) 市有林を森林セラピーに開放できないか

8 農地制度、農業委員会制度について

- (1) 一般の株式会社による農地取得をめぐる議論は、どのようなになっているのか
- (2) 農地転用はどのように運用されているのか
- (3) 政府の規制改革・民間開放推進会議における農業委員会を農業者を排除した第三者機関とすべきとの意見について、どのように考えているのか